

2013  
平成25年

1月5日

土曜日  
(仏滅)

大館	北秋田
午前	午後

きょう  
の天気

# おぼだ新

ODATESHIMPO

行所 大館新報社

〒017-0814 秋田県大館市赤館町1-7 電話0186-43-3155 FAX0186-43-3155

(編集)45-1000(広告)49-1559

北秋田支局 〒018-3316 北秋田

## 新春随想

# いのちの意味

小林 佳久

石巻に向かう車の中、姪の携帯に彼女の友達から電話がかかってきた。「おばあちゃん、犬がよるよ見つかっただよ」「そこか。良かったね。」「うん。今、火葬場に向かっている。」「泣かないで。見つかっただよ良かったんだから。」辛い目にあっても当たり前で悲しいことができなかつたあの極限状況。また逆に、家族全員助かったという嬉しいはずのことを、申し訳なく感じてしまう人がいた程の大惨事。助けようと思った命を救えなかつた大勢いたであろうし、自分を助けてくれた人が犠牲になってしまったという体験をした人もいたに違いない。平時では決してあり得ない生死が、入り乱れた状況に呑み込まれていく。心は、いったいどこまで傷つてしまったのだろうか。

最近の調査によれば、岩手・宮城・福島消防団で五人に一人は今でも心的外傷後ストレス障害(PTSD)を発症する可能性が高いという。また、衝撃的な研究もある。震災の話ではないが、沖縄での地上戦を経験した一般市民が十年以上経った今になって還帰性のPTSDを発症しているらしいのだ。その原因が、本当に戦争トラウマだからとすれば、未曾有の大災害を原因として、長い年月を経た後に同様の症状が出るかもしれないの

である。そんな悲しい結果が生じないように、失われた形の再建・復興だけではなく、傷ついた心の修復・回復についても、すべての人に普遍的に問われることを望むばかりである。

ところで、秋田県は平成7年から17年間連続で自殺率が全国一高い。震災と重なった方々のことを思えば、何故自分から命を絶つのかという憤りにも似た気持ちが沸き起こってくる。けれども、死んでしまいたいという思いがわからないわけではない。被災地で傷ついたら心を身せつけられたあとだから、今まで以上にわかる気がする。生きることに苦しみ、命の回き合い方に悩んだ拳骨、

生きつらさを感じて、人は生きを捨て死にくだりたくなる。それは誰に言え、ただ生きていこうとしても、人は、生きることに耐えられなくなる。それは誰にも起し得るのだ。

生きることに疲れた時、人は「いのちの意味」を考へる。否、それは考へてはならない。「なぜ自分だけが生き残ったのか」「どうして大切な人が死んでしまったのか」「そんな思いには、いまも苦しむ人たちがいる。」「いのちの意味」に悩んでいるのだと思う。しかしながら、本来「命」自体に意味はない。ただ、人間の及ぼす力によって、

人は生きを捨て死にくだりたくなる。それは誰に言え、ただ生きていこうとしても、人は、生きることに耐えられなくなる。それは誰にも起し得るのだ。

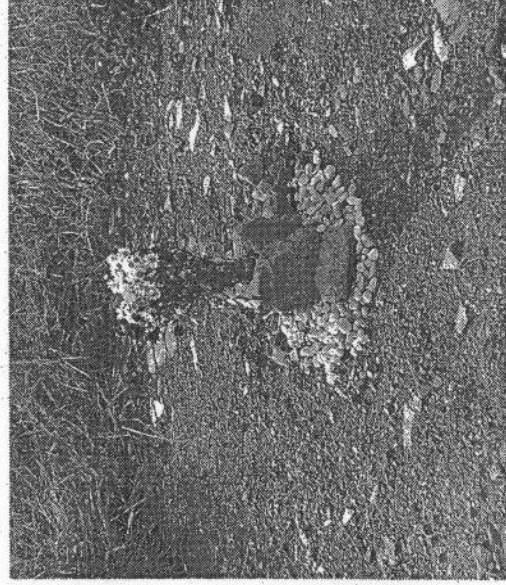
生きることに疲れた時、人は「いのちの意味」を考へる。否、それは考へてはならない。「なぜ自分だけが生き残ったのか」「どうして大切な人が死んでしまったのか」「そんな思いには、いまも苦しむ人たちがいる。」「いのちの意味」に悩んでいるのだと思う。しかしながら、本来「命」自体に意味はない。ただ、人間の及ぼす力によって、

人は生きを捨て死にくだりたくなる。それは誰に言え、ただ生きていこうとしても、人は、生きることに耐えられなくなる。それは誰にも起し得るのだ。

生きることに疲れた時、人は「いのちの意味」を考へる。否、それは考へてはならない。「なぜ自分だけが生き残ったのか」「どうして大切な人が死んでしまったのか」「そんな思いには、いまも苦しむ人たちがいる。」「いのちの意味」に悩んでいるのだと思う。しかしながら、本来「命」自体に意味はない。ただ、人間の及ぼす力によって、

人は生きを捨て死にくだりたくなる。それは誰に言え、ただ生きていこうとしても、人は、生きることに耐えられなくなる。それは誰にも起し得るのだ。

生きることに疲れた時、人は「いのちの意味」を考へる。否、それは考へてはならない。「なぜ自分だけが生き残ったのか」「どうして大切な人が死んでしまったのか」「そんな思いには、いまも苦しむ人たちがいる。」「いのちの意味」に悩んでいるのだと思う。しかしながら、本来「命」自体に意味はない。ただ、人間の及ぼす力によって、



あちこちに祀られている串の標  
(岩手県陸前高田市)

(大館市三ノ丸・金剛神  
総本山少林寺大館三ノ丸  
道院長)